

平成19年度実施事業 事業評価シート

事業名:	厚田生涯学習講座開催事業	5-7
運営の方法(1:直営、2:民間委託、3:補助、4:その他)	複数回答可	1
事務の分類(1:自治事務、2:法定受託事務)		1

担当部課	生涯学習部 厚田生涯学習課	直通電話	78-2250
担当部長	飯尾徹	担当課長	中西哲夫
		担当者	栗谷幸介

1 事業のアウトライン			
(1)事業概要及び交付金額等の積算根拠	びよびよ広場IN厚田事業 あったか!ROIRO講座事業 石狩シニアプラザ「おらが元気塾」事業		
(2)事業開始年度	平成18年度	(3)事業終了年度	未定
(4)総合計画での事業体系	テーマ等	5 心豊かに学びいきいきと活動するまち	
	施策項目(大)	(1)生涯学習の推進	
	施策項目(小)	学習機会の整備充実	
	施策コード	50102	

2 事業の内容	
(1)事業の目的 何のために	だれもが自由に学習機会を選択しながら、生涯にわたって学び続けられる環境を整え、自己実現を図りながら充実した人生を送ることができるようにする。
(2)目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	できるだけ多くの市民に、「まちづくり出前講座」や「プログラムバンク事業」を利用してもらおう。 プログラムバンクをより充実させるため、新たな「プログラム」の登録を目指す。
(3)事業の方法 どんな手段を講じるのか	学習情報、講座情報の提供と活動の支援。
(4)19年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	
(5)事業の背景・社会状況・他の類似事業など	全国的に、団塊世代の大量退職とそれによって加速される高齢化社会を迎えての生きがいづくりが必要とされている。
(6)事業の立案や実施における協働の視点	市民団体との協働により企画、運営している。

3 事業に投入した行政資源				
区分	H17	H18	H19	H20予算
(1)直接事業費(千円)		105	105	110
(2)その他の間接経費(千円)		0	0	0
(3)従事正職員の人件費(千円)		829	897	
総事業費((1)~(3)の合計:千円)		934	1,002	
事務に従事した正職員延べ人数		0.10	0.10	

4 交付団体の予算・決算 (単位:千円・%)											
収	区分	H17	H18	H19	H20予算	支	区分	H17	H18	H19	H20予算
	市補助金等(A)										
入	計(B)	0	0	0	0	出	計	0	0	0	0
	(A/B)										

5 事業活動の結果 (単位:千円・%)					
活動指標名		H17	H18	H19	H20
講座メニュー数	目標値		10	10	10
	実績値		11	14	
	達成率		110.0	140.0	
	目標値				
	実績値				
	達成率				
	目標値				
	実績値				
	達成率				

6 事業の成果		(単位:千円・%)			
成果指標名		H17	H18	H19	H20
講座参加者数	目標値		100	100	100
	実績値		86	131	
	達成率		86.0	131.0	
	目標値				
	実績値				
	達成率				
	目標値				
	実績値				
	達成率				

7 事業の観点別評価		担当課長が評価します。	
(1) 必要性		(4) 有効性	
ア 市民ニーズ	1 大きい	ア 施策との関連	1 密接な関連がある
社会経済情勢の変化に対する市民ニーズはどうか	2 普通	事業の成果と施策の成果とに関連があるか	2 関連がある
	3 小さい		3 関連はほとんどない
イ 市の関与	1 行政にしかできない	イ 成果	1 すべて達成している
その事業に市が関与する必要があるかどうか	2 民間等でもできる	事業の成果は目標を達成しているか	2 一部達成している
	3 民間等でやるべき		3 達成していない
(2) 効率性		ウ 事業内容	1 極めて妥当
ア コスト削減	1 不可能である	目指す成果の実現を図る上で、今の事業内容は適当か	2 一定の妥当性あり
コスト削減は可能か	2 難しい		3 妥当性が低い
	3 可能である		
(3) 公平性		(1)~(4)の評価ポイント合計	
ア 受益者負担	1 不可能である	総合評価の参考にしてください。	
さらなる受益者負担は可能か	2 難しい	7~11	A or B
	3 可能である	12~15	B or C
		16~21	D or E
		11	

8 課長評価		担当課長が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価			
B	評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)	参加者数等クリアされているため、良好と考える。地元人材の活用、また、講座を各団体が主催するなど、団体への移行も考えられる。	
(2) 今後の方向性・課題		講座を単独で実施するよりも、1つの事業に講座要素も取り入れた複合型(ドッキング型)事業の展開も必要と考える。今後もより一層の協働関係を築くなかで運営していく。	
(3) 平成21年度の方向性			
*:担当課長	事業内容		
	現状維持	一部見直し	大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持	*	
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		

↓ ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

9 課長評価に対する市民意見	

10 部長(市長)評価		課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価			
B	評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)	課長評価を了承する。	
(2) 今後の方向性・課題		地域ニーズを適確に把握し、講座内容や取組み方法についての検討が必要である。	
(3) 平成21年度の方向性			
:担当部長(もしくは市長)	事業内容		
	現状維持	一部見直し	大幅見直し
事業規模	拡大方向		
	現状維持		
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		